

呉自社商品開発協議会

新規事業開拓グループ

令和2年度総会資料

発表者：
佐藤技術サポート
リーダー 佐藤 正美

R2. 5. 21

グループの目的

技術分野，業種を問わず，自社及びグループ会員共通の短期・中期的で実現可能な事業化テーマについて，必要に応じてビジネスプランを作成して，グループ会員の新規事業創出や実践グループの創出を図る。

令和元年度活動実績(1)

No	日時	議事	参加者	備考
1	H31.4.12(金) 18:00～19:30 ビューホートくれ	第1回グループ会議 ・役員会報告 ・新規事業開拓Gr平成30年度まとめ ・ビニル袋開封装置 ・情報交換	8名	
2	R1.5.10(金) 18:30～19:30 ビューホートくれ	第2回グループ会議 ・総会協議 ・ビニル袋開封装置検討 ・タケノコセンサー報告 ・情報交換	6名	
3	R1.5.16(木)	平成31年度総会参加 ・ものづくり講演会、総会 ・H29年度活動・H30年度活動計画の報告 ・交流会		総会参加
4	R1.6.14(金) 15:00～19:30 ビューホートくれ	第3回グループ会議 ・ビニル袋開封装置検討 ・タケノコセンサー報告 ・新規案件検討 ・情報交換	5名	
5	R1.7.12(金) 15:00～19:30 ビューホートくれ	第4回グループ会議 ・役員会報告 ・ビニル袋開封装置検討 ・タケノコセンサー報告 ・新規案件検討 ・先進地視察候補検討 ・情報交換	8名	
6	R1.8.8(金) 18:00～19:50 ビューホートくれ	第5回グループ会議 ・ビニル袋開封装置検討 ・タケノコセンサー報告 ・新規案件検討 ・先進地視補検討 ・情報交換	10名	
7	R1.9.13(金) 18:00～19:30 ビューホートくれ	第6回グループ会議 ・役員会報告 ・ビニル袋開封装置検討 ・ペット健康測定具検討 ・先進企業視察検討 ・情報交換他	8名	
8	R1.10.11(金) 18:00～19:30	第7回グループ会議 ・役員会報告 ・ビニル袋開封装置検討 ・タケノコセンサー報告 ・先進企業視察検討 ・竹チップ関連 ・情報交換他	7名	
9	R1.11.8(金) 10:00～16:30	第8回グループ会議 ・先進地視察検討 ・アイデアコンテスト事業化審議 ・情報交換	9名	
10	R1.12.13(金)	第9回グループ会議 ・先進地視察先決定 会議終了後、忘年会	5名	会議終了後忘年会(15名)
11	R2.1.10(金) 18:00～18:30 ビューホートくれ	第10回グループ会議 ・役員会報告 ・タケノコセンサー報告 ・先進地視察参加者募集 ・情報交換	8名	
12	R2.2.4(火)	先進地視察 ・ホーコス(株) ・柿原工業(株)	16名	
13	R2.2.14(金) 18:00～19:50 ビューホートくれ	第11回グループ会議 ・役員会報告 ・タケノコセンサー報告 ・先進地視察まとめ ・情報交換	11名	
14		第12回グループ会議		新型コロナウイルス問題で中止

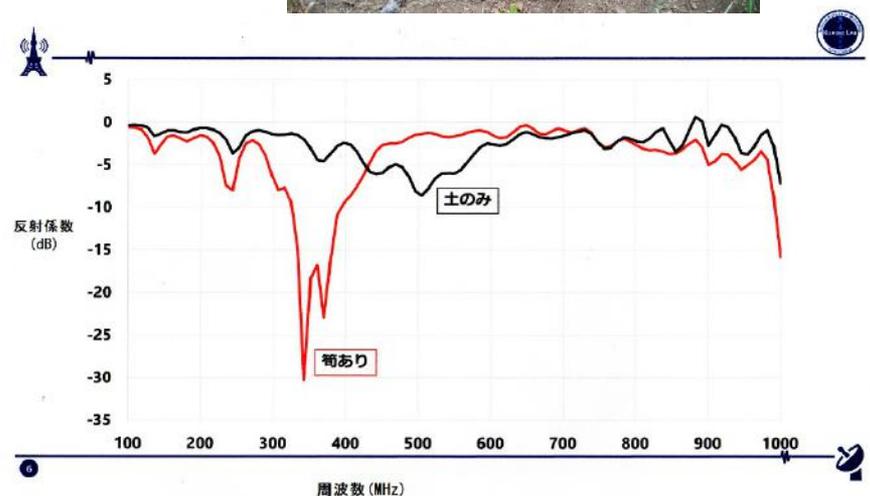
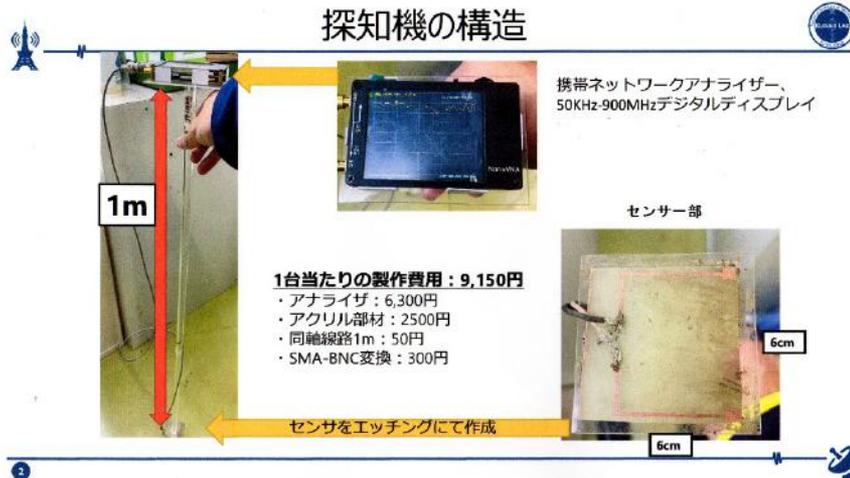
令和元年度活動実績(2)

テーマ推進事項

商品化・事業化に向け、3件のテーマ取り上げ検討を進めた。

① タケノコセンサーの開発

タケノコは土から頭を出すか出さない状態が一番おいしく、流通価格は高い。しかし探すのは相当熟練を要する。誰でも簡単に探し出せるツールを目標として電磁波を利用したセンサーを開発して商品化を目指した。



② ビニル袋開封装置検討

スーパーに設置されているビニル袋は口が開けにくいいため、簡単に開ける機構を検討した。摩擦を利用した方法で4次試作を重ねたが、課題があり、他の方法を含めて継続検討とした。

③ アイデアコンテストのアイデア事業化審議

アイデアコンテストに応募したアイデアの中から、事業化に結び付けることができるアイデアの選出を試みた。
審議の途中であるが、今のところ5件選出した。
今年度も引き続き審議を行っていく。

令和元年度活動実績(3)

1. 先進企業訪問の実施

参加者 16名

実施日 令和2年2月4日(火)

① ホーコス(株) 北事業所

場 所: 福山市駅家町法成寺1613-50

10:30~12:00

- ・工作機械、鑄造、環境改善機器、建築設備、商事の5部門があり、北事業所では工作機械、鑄造、環境改善機器の製造を行っている。
- ・工作機械部門は自動車メーカー向けのエンジン・トランスミッションのNC加工機を製造しており、全世界へ納入とのこと。特に、ドリルに穴を開けた穴加工切削システム(iMQL)は特許取得のオンリーワン技術である。
- ・環境改善機器部門は集塵機、ミストコレクターなどを製造し、売り上げの3割を占めている。
- ・鑄造部門は自社製品の部品を砂型、自硬性鑄型で製造し、自社の集塵機をふんだんに使い、環境に配慮した工場となっている。



ホーコス(株)正面玄関



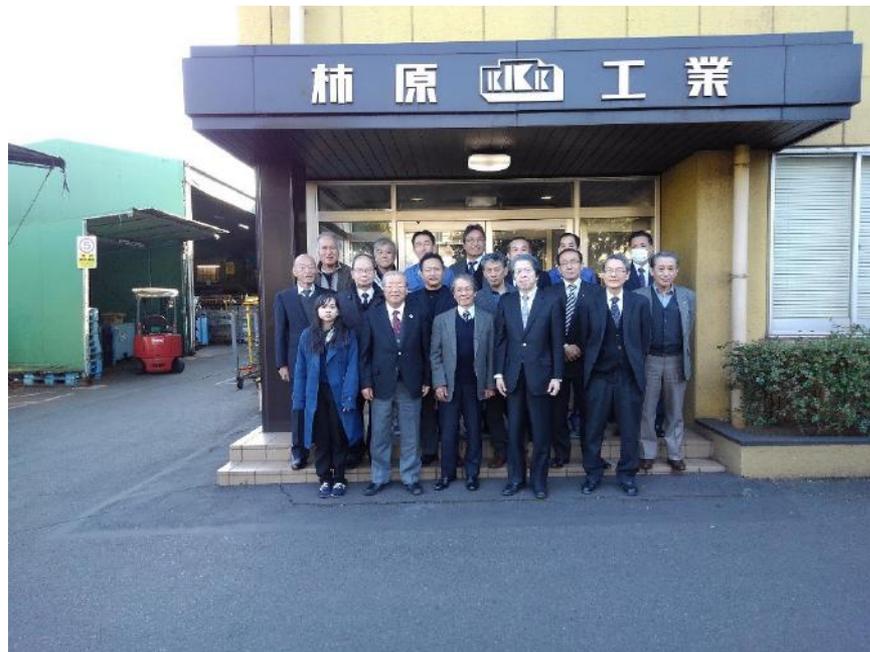
ホーコス(株)工場

② 柿原工業(株)

場 所: 福山市箕沖町99-13
(14:00~15:30)

- ・空気と水以外のものにすべてメッキ。キーテクノロジーは「メタライジング」
- ・非金属表面に金属層を生成して表面を金属化する。これにより、高硬度、高耐食性、高剛性、耐環境性、導電性、電磁波シールド性が生まれる。非金属メッキは21世紀のキーテクノロジーである。
- ・樹脂メッキ部品は自動車、住宅、農機具、アミューズメント等向けに自社で成形して納入している。

- ・プラチナサテンチタニウム、ダーク調3価クロム、シルバー調3価クロムメッキは柿原工業独自の技術の結晶とのことである。



柿原工業(株)玄関

令和元年度 まとめ

令和元年度は、KIT会員からの提案や情報をもとに3件のテーマについて協議を重ねた。

事業化に向けた案件を具体的に進めることはできなかったが、次年度には「タケノコセンサー」が事業化に向けた活動ができると思われる。また、先進企業訪問では、他分野の最新技術の知見が得られ、これからの活動に成果をもたらすことができる。

令和2年度 活動目標

- ・前年度の方向性を継承するとともに、シーズおよびニーズの精査を徹底し、時代のニーズにかなう新規事業化テーマの創出を目指す。
- ・多くの参加者による活発な意見・情報交換の場を持ち、テーマにつながるヒントを探し出す。

令和2年度 活動計画

- ①先進情報の収集と共有(文献・情報交換)
- ②シーズの具現化
特許、研究開発成果等の活用
- ③ニーズの発掘
外に出かけて現場の意見・提案を聞く
- ④継続審議事項の推進
- ⑤メンバー各社の抱える課題を持ち寄り検討、討議
- ⑥先進企業訪問
- ⑦講演会・セミナー等の参加
- ⑧他のKITグループへ積極的に参加